第２講
南アジア・西アジア・アフリカ

［１］ 南アジアの降水量は，全体的に東部で多く，西部で少ない。とくにパキスタンは国土のほぼ全域が乾燥帯に含まれ，外来河川インダス川からの灌漑によって農業が成立している。バングラデシュなど東部はサイクロンの影響も大きく，ガンジス川の形成する巨大なデルタはしばしば水害に見舞われる。

なお，カトマンズはネパールの首都。ヒマラヤ山脈の南側斜面に位置する高山都市である。

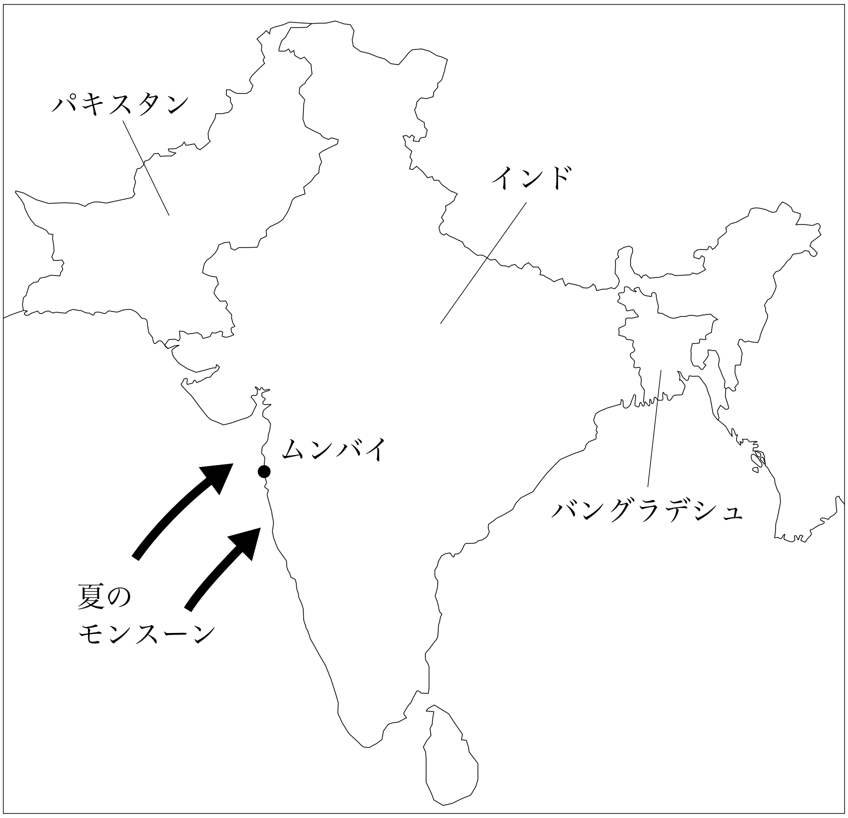
［２］ 南アジアの宗教構成は重要。
バングラデシュ・・・イスラーム。かつてパキスタンと連邦国家を形成。
インド・・・ヒンドゥー教徒。ただし東部にはムスリムも多い。
パキスタン・・・イスラーム。
スリランカ・・・多数派シンハラ人は仏教徒だが，北部の少数派タミル人はヒンドゥー教徒(インド半島から移住)。
カシミール地方・・・藩王はヒンドゥー教，領民はイスラーム。インドとパキスタンが帰属を争う。

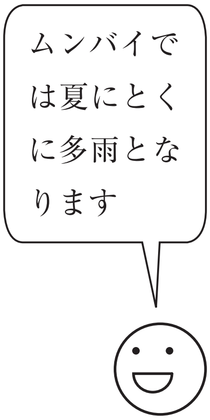
各宗教の特徴も知っておこう。
仏教・・・托鉢の習慣があるため，豊かな農業地域にのみ伝播。日本やベトナムには大乗仏教(漢字文化)，スリランカやインドシナ半島には上座部仏教。とくに上座部仏教においては，男子は出家の義務がある。
イスラーム・・・１日５回の礼拝，聖地メッカへの巡礼，断食(１か月の間，日中は飲食が禁じられる)，豚肉を食することやアルコールの摂取の禁止など，教義が厳格。
ヒンドゥー教・・・搾乳用や使役用に重用される牛を保護する。多産が奨励されている。ガンジス川での沐浴。

インドでは，ヒンドゥー教成立以前より独自の文化がみられる。
カースト制度・・・職業区分であるが，身分差別につながる。憲法では否定されているものの，農村を中心にカースト制に基づく階級区分意識は強く残る。

菜食主義・・・殺生を嫌うインドでは，伝統的に家畜の肉はあまり食されず，菜食が中心。主な動物性タンパク源も生乳や乳製品である。しかし，都市部や若年層の間では鶏肉を主として肉食も増えつつある。

女性差別・・・南アジアや西アジアは女性の社会進出が進まない地域。女性の労働力率が低い。特にインドやパキスタンは女性の識字率も低い（アラブ圏は比較的女性の識字率は高い）。近年は就学率の向上など女性の社会進出を支援する動きもみられるようになっている。





［３］ インドの都市をチェックしよう。

・コルカタ・・・ガンジス川水系のデルタに位置。自然堤防に市街地が広がる。ジュート工業など。

・ジャムシェドプル・・・豊富な資源に恵まれ，20世紀初頭より鉄鋼業が興る。

・デリー・・・首都。市内のニューデリー地区は計画的に開発された。

・ムンバイ・・・インド半島西部に位置し，モンスーンの影響で夏季に降水が集中。綿花栽培地を後背地にもち，綿工業が発達しているほか，自動車工業や石油化学工業なども。

・ベンガルール(バンガロール)・・・「インドのシリコンバレー」。アメリカ合衆国系の企業が，本国との時差が約12時間であることを利用し，コンピュータソフト開発を進める。

［４］ 西アジア諸国は，言語系統を主として整理する。

・アフガニスタン・・・インド・ヨーロッパ語族。乾燥した国土をもつ山岳国。遊牧など。一部の地域はイスラム原理主義者によって支配されている。
・イラン・・・インド・ヨーロッパ語族のペルシャ語を使用。イラン革命によりイスラム共和制となる。乾燥した高原では地下水路(カナート)によるオアシス農業が営まれる。産油量は多いが，１人当たりGNIはさほど高くない。
・アラブ諸国・・・イラクやサウジアラビア，ペルシャ湾岸の小国家など。アフリカ・アジア語族のアラビア語を使用。原油算出が盛んで経済レベルが高い国が多く，クウェートやアラブ首長国連邦などは１人当たりGNIが特に高い。王侯による君主国が多い。
・イスラエル・・・アフリカ・アジア語族のヘブライ語を使用。ユダヤ教を信仰するユダヤ人によって，第二次世界大戦後に建国された。周辺アラブ国家との対立がみられ，GNIに占める軍事(国防)費の割合が高い。
・トルコ・・・アルタイ諸語のトルコ語を使用。首都は内陸部のアンカラだが，人口最大都市は海峡に面するイスタンブール。東ローマやオスマン帝国の都として栄え，ヨーロッパとアジアの文化が交差する。ムスリムが多いが，政教分離が徹底している。

農業に関しては気候条件との関係が重要。地中海性気候地域では地中海式農業，それ以外の乾燥地域では遊牧やオアシス農業。イラクなど低地では外来河川(チグリス・ユーフラテス川)からの取水によって，イランなど高原においては地下水路を利用して，それぞれ小麦やナツメヤシの栽培がみられる。サウジアラビアでは地下水を利用したセンターピボット農法で穀物栽培が行われている。

［５］ 紀元前にパレスチナ地方においてユダヤ教が生まれ，それを元としてキリスト教が，さらに新しい時代にイスラームが，それぞれ成立。いずれもエルサレムを聖地の一つとする。

・イスラエルの成立・・・紀元前に古代イスラエルは滅亡し，ユダヤ人たちは世界中へと離散した。20世紀に入り，その子孫たちはパレスチナ地方に集まり，1948年に新国家イスラエルを建国した。しかし，その際にアラブ系ムスリムであるパレスチナ人たちは土地を失い，周辺国へと難民として流出した。ユダヤ人とパレスチナ人の対立は現在も続く。

［6］

・クルド人・・・トルコ・イラン・イラクなど複数の国にまたがって居住する山岳民族。人口は多いが，自民族による国をもたない。それぞれの国で迫害を受ける。

・チェチェン人・・・ロシアのカフカス地方に居住(チェチェン共和国)。ムスリムであり，自治権拡大や分離独立を求める動きも。

・パレスチナ人・・・パレスチナ地方(現在のイスラエル)に居住していた人々で，アラブ系のムスリム。イスラエル建国の際に居住地を追われ，難民となって周辺国へと流出した。

［7］　アフリカの地形環境。

安定陸塊の卓状地が広い範囲を占める。古大陸ゴンドワナランドの一部であり，高原状の地形となっている。低地の割合が低い。

北西部のアトラス山脈は新期造山帯に含まれる褶曲山脈であり，南東部のドラケンスバーグ山脈は古期造山帯で石炭を産出する。

大陸東部には巨大な断層(アフリカ大地溝帯)が走行し，プレートの広がる境界となっている。火山や断層湖がみられ，とくにキリマンジャロ山は標高6000m近くに達し，山頂付近には山岳氷河。

［8］　アフリカの気候環境。

アフリカ大陸は北緯35°から南緯35°まで広がり，赤道を中心として線対称的な植生分布がみられる。

赤道周辺(コンゴ盆地・ギニア湾岸)・・・熱帯雨林

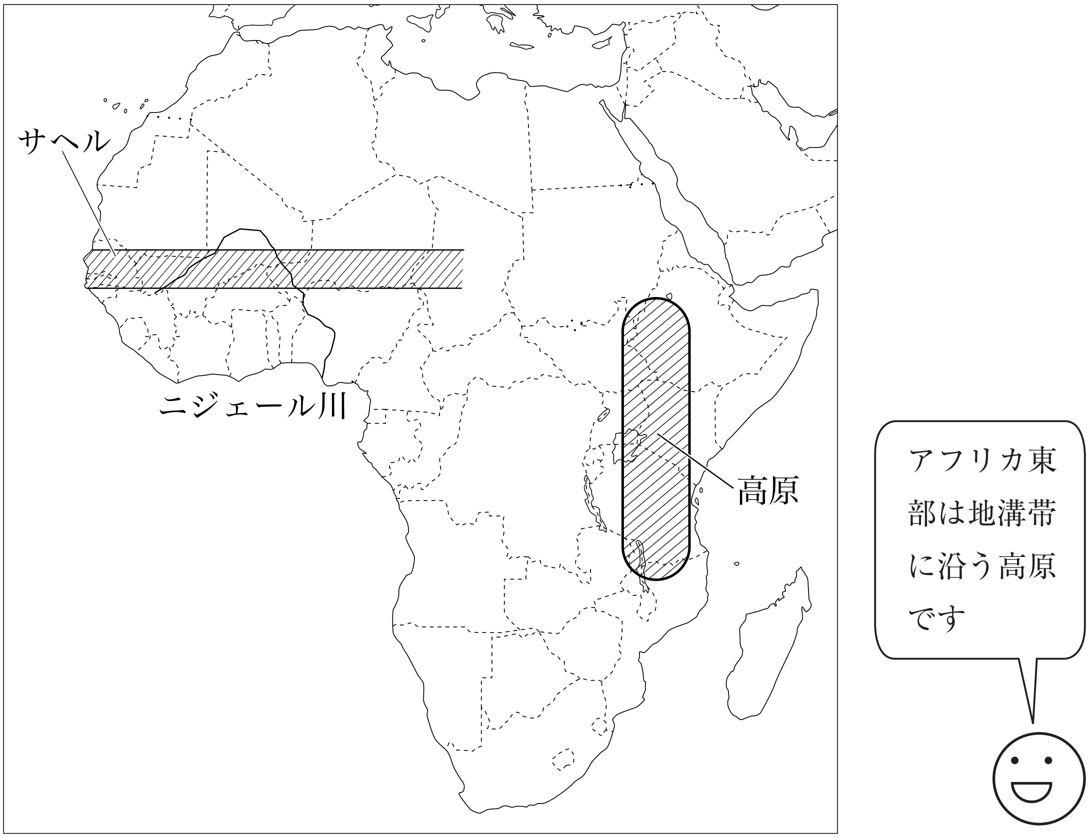
緯度15°付近(サヘル地帯)・・・ステップ

緯度25°付近(サハラ砂漠・カラハリ砂漠)・・・砂漠

緯度35°付近(モロッコ沿岸部・ケープタウン)・・・硬葉樹(地中海性灌木林)

図１は，「１」に注目しよう。スタート地点はいずれも低緯度の地点であるが，図３を参照するとウのみ気温が低くなっている。

さらにアとイの判定については植生がポイント。熱帯雨林と砂漠の分布を考える。沿岸部でも砂漠になっている地域に注意。



［９］　アフリカの民族と言語について。

アフリカはサハラ以北の北アフリカとサハラ以南アフリカに大別される。北アフリカは主にアラブ人が居住し，彼らの使用するアラビア語はアフリカ・アジア語族に分類される。サハラ以南アフリカの人々はこれとは異なり，ニジェール・コルドファン諸語などに属する言語を使用している。こちらはとくに経済レベルの低い地域であり，衛生環境や食糧事情も悪く，乳幼児死亡率が高く，平均寿命は短い。熱帯地域を中心にマラリアが蔓延し，南部アフリカではHIVの感染者が多い。

言語は，北アフリカではアラビア語が主に使用され，インド洋沿岸ではスワヒリ語を使用する国もある。しかし，サハラ以南アフリカの多くの国は，植民地支配の過程で民族・部族分布を無視して策定された境界が独立後も国境とされたた

め，複雑な言語構成をもつ国も多い。コートジボワールがフランス語，ナイジェリアが英語など旧宗主国の言語が公用語とされている。

なお，宗教は北アフリカとサヘル地帯（セネガルやナイジェリア北部）がイスラームであり，エチオピアがキリスト教（コプト派）。アラブ商人たちが岩塩交易のため，サハラ砂漠を越えて行き来し，イスラームが伝えられた。ニジェール川沿岸のトンブクトゥーはかつての黒人王国マリの都であり，イスラームのモスクがつくられている。

P；ケニア内陸部に注目。赤道直下ではあるが，標高が高く気温が低いため，衛生条件が良く，ヨーロッパから入植が進んだ。ケニア山麓の高原地帯は「ホワイトハイランド」とよばれ，イギリス人によって茶のプランテーションが開かれた。逆に，西アフリカのギニア湾では沿岸部のみに分布。熱帯雨林地域であり，伝染病を恐れ，ヨーロッパ人の入植が内陸部にまで及ばなかった。

Q；北緯15°付近一帯に分布する。やや乾燥した地域であるが，とくに外来河川沿いに展開した都市が多い。

R；インド洋の沿岸に沿う。

コートジボワールという国名はフランス語で「象牙海岸」の意味。ただし，ギニア湾に面する海岸部の植生は熱帯雨林であり，象の生息地域は内陸部のサバナ（疎林と熱帯草原）地域となる。内陸部から海岸の港湾まで象牙が運ばれたのであろう。

ギニア湾の沿岸には多くの港がつくられ，欧米との交易が盛んに行われた。象牙海岸の他，ガーナ沿岸が黄金海岸（内陸部で金鉱が採掘された），ナイジェリア沿岸一帯が奴隷海岸とも呼ばれた。

[10]　アフリカのほとんどの地域は欧米諸国の植民地となっていた。

・旧イギリス領・・・ナイル川沿岸・ガーナ・ナイジェリア・南アフリカ共和国。
・旧フランス領・・・北アフリカと西アフリカの広い範囲（アルジェリア・サヘル地帯・コートジボワール）。マダガスカル。
・旧ベルギー領・・・コンゴ盆地。コンゴ民主共和国のダイヤモンド鉱山を支配。
・旧スペイン領・・・モロッコ南部（西サハラ）。
・旧ポルトガル領・・・アンゴラ・モザンビーク。

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ［練習問題］

［１］（2008年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次の**ア**～**ウ**の文章は，図１中に示したカトマンズ，カラチ，コルカタ（カルカッタ）のいずれかの都市の気候について述べたものである。**ア**～**ウ**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

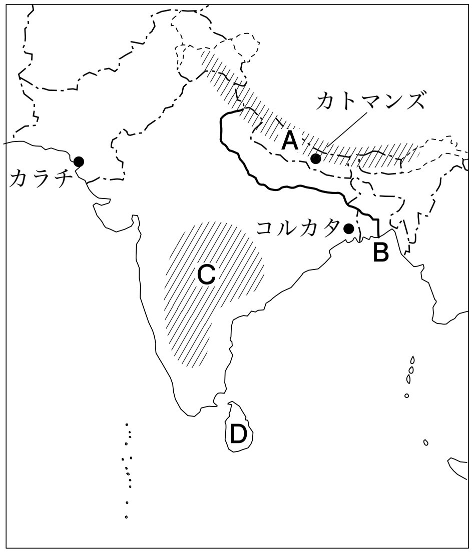


図　１

ア　雨季に年降水量の約４分の３の雨が降り，１年を通して高温である。サイクロンの襲来による被害を受けることもある。

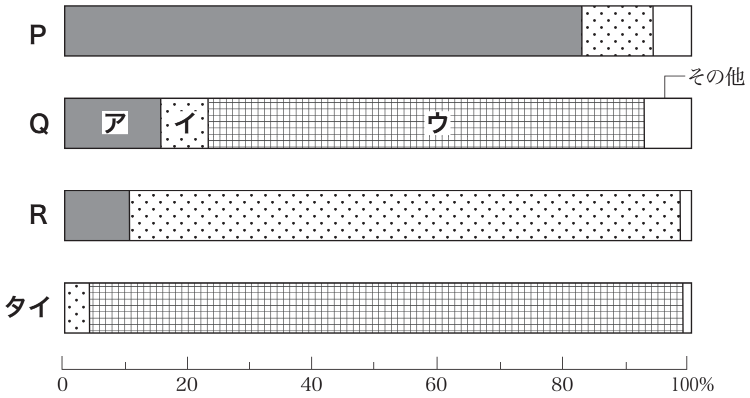
イ　雨季に年降水量の約４分の３の雨が降る。最寒月の平均気温が10℃，最暖月の平均気温が24℃と，１年を通して温暖である。

ウ　年降水量が200mmより少ない。気温の日較差は大きく，日中の気温が40℃を超えることもある。

	ア	イ	ウ
①	カトマンズ	カラチ	コルカタ
②	カトマンズ	コルカタ	カラチ
③	カラチ	カトマンズ	コルカタ
④	カラチ	コルカタ	カトマンズ
⑤	コルカタ	カトマンズ	カラチ
⑥	コルカタ	カラチ	カトマンズ

［２］（2002年度地理Ｂ本試験第３問問４）

次の図４は，インド，スリランカ，バングラデシュのいずれかの国とタイで信仰されている宗教について，宗教別の人口割合を示したものである。図４中の**ア**〜**ウ**はイスラム教，ヒンドゥー教，仏教のいずれかであり，下の写真**１**の**ア**〜**ウ**はそれらの宗教に関する写真を示している。**Ｐ**〜**Ｒ**に該当する国名の組合せとして正しいものを，下の①〜⑥のうちから一つ選べ。



外務省『アジア・オセアニア各国要覧』などにより作成。

図　４

ア

イ

ウ

写真　1

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	P	Q	R
①	インド	スリランカ	バングラデシュ
②	インド	バングラデシュ	スリランカ
③	スリランカ	インド	バングラデシュ
④	スリランカ	バングラデシュ	インド
⑤	バングラデシュ	インド	スリランカ
⑥	バングラデシュ	スリランカ	インド

［３］（2007年度地理Ｂ追試験第２問問６）

次の図３中の**Ｋ**～**Ｍ**は，インドにおける主要な工業都市を示したものであり，下の**カ**～**ク**の文は，**Ｋ**～**Ｍ**とその周辺地域の工業について述べたものである。**Ｋ**～**Ｍ**と**カ**～**ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

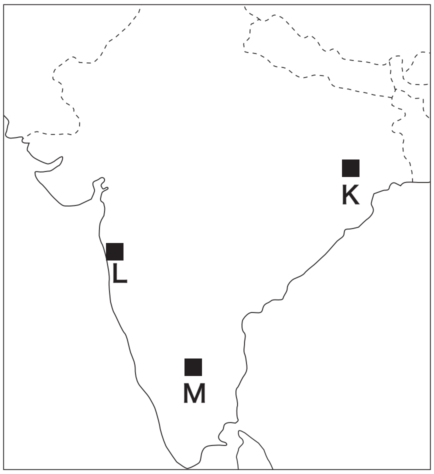


図 ３

カ 綿花栽培地域を背景として綿工業が古くから盛んであり，現在では機械や石油化学工業も発展している。

キ 豊富な鉱産資源と水力をいかして，イギリス植民地時代に製鉄所が建設され，鉄鋼業が発展している。

ク 工作機械や航空機などの機械工業が盛んであり，現在では外国企業の進出とともにＩＴ産業が発展している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｋ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Ｌ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Ｍ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［4］（2018年度地理Ｂ本試験第４問問２）

図１中に示したＡ～Ｄの地域でみられる農牧業について述べた文として下線部が**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

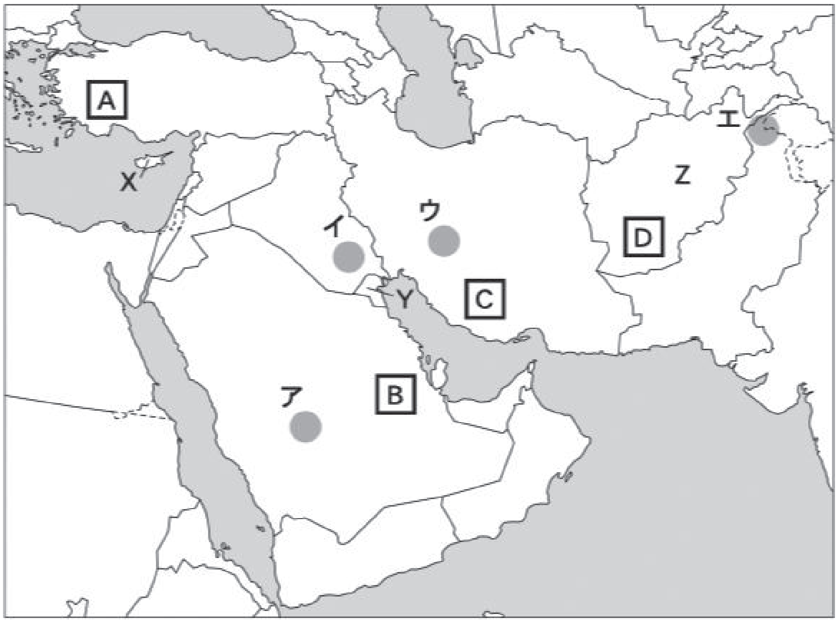


図　1

① Ａ地域では，夏に乾燥する気候に適したオリーブが栽培されている。

② Ｂ地域では，大規模な灌漑（かんがい）施設を利用して小麦や野菜が栽培されている。

③ Ｃ地域では，ため池の水を利用してコーヒーが栽培されている。

④ Ｄ地域では，家畜を飼養して乳製品や羊毛が生産されている。

［5］（2002年度地理Ｂ追試験第３問問３）

図1中のBの都市は三つの宗教の聖地であり，それぞれの信者が時に対立しつつ暮らしてきた。これら三つの宗教に**該当しないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

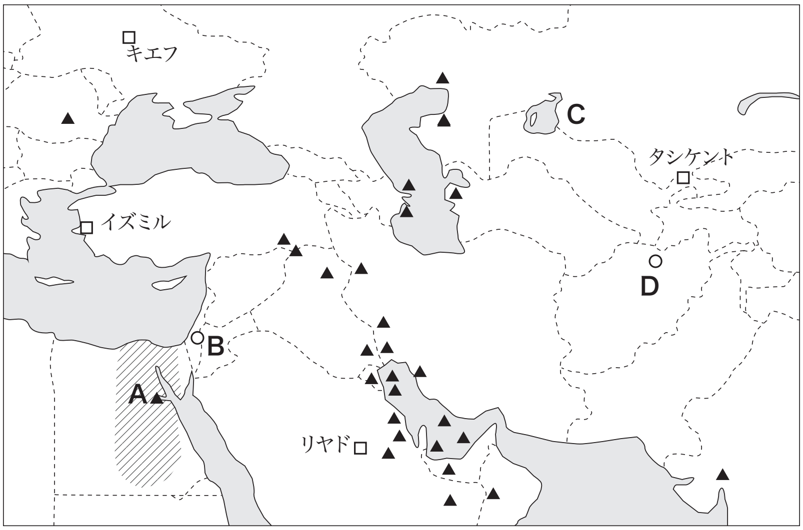
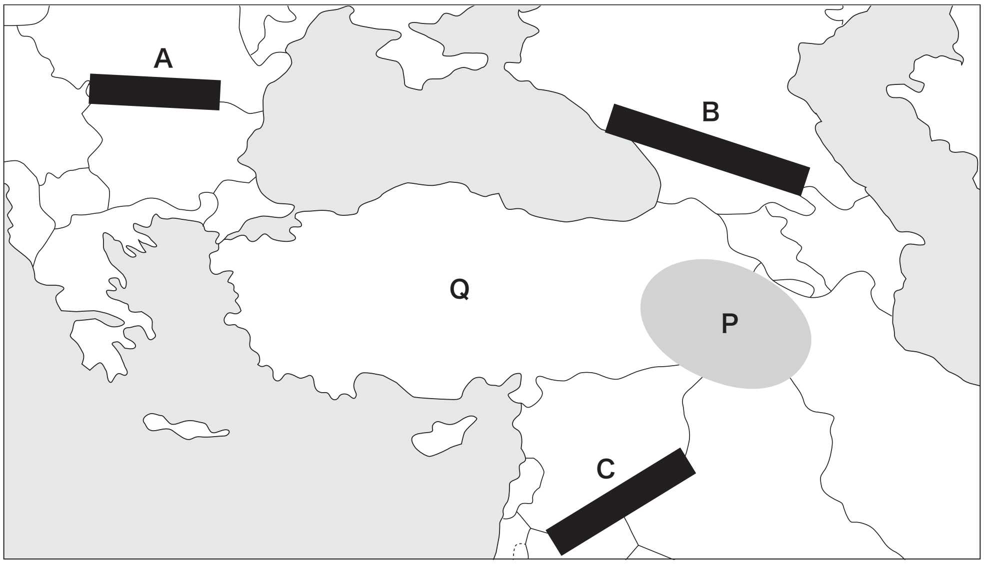


図　1

①　イスラム教　　②　キリスト教　　③　ヒンドゥー教　　④　ユダヤ教

［６］（2003年度地理Ｂ追試験第４問問２）

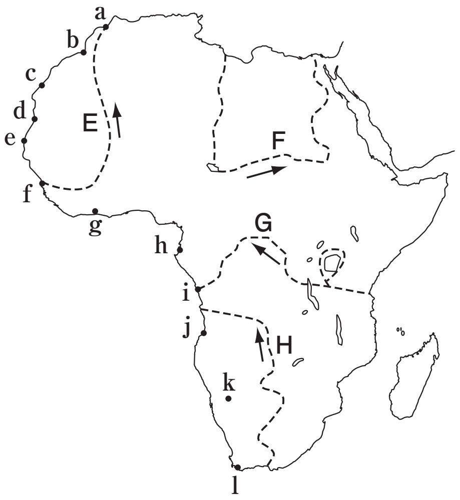
図中のＰ地域付近には，ある民族が居住している。この民族は自治・独立を要求しているが，難民となっている人々も多い。この民族名として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。



① アルメニア人
② クルド人
③ チェチェン人
④ パレスチナ(パレスティナ)人

［７］（2003年度地理Ａ本試験第１問問２）

図１中のＥ～Ｈは，19世紀にヨーロッパ人探検家が通ったルートの一部である。それぞれのルートで現在みられる地形の特色を述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。



The Times Concise Atlas World History などにより作成。

図　1

① Ｅルートでは，広大な砂漠を通ってきた後に，活発な噴火活動を行っている火山がみられる。

② Ｆルートは，ほとんどが砂漠地帯を通っており，その途中で，外洋への流出河川をもたない内陸湖がみられる。

③ Ｇルートは，大陸の裂け目である大地溝帯を横断しており，その近くには，山頂が万年雪で覆われた高山がみられる。

④ Ｈルートでは，最初に，海岸の近くに急な斜面があり，その先には広い高原がみられる。

［8］（2007年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次の図3中のア～ウは，図1中のA～Cのいずれかのルートについて，ルート上のそれぞれの5地点における気温と植生の変化を表したものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

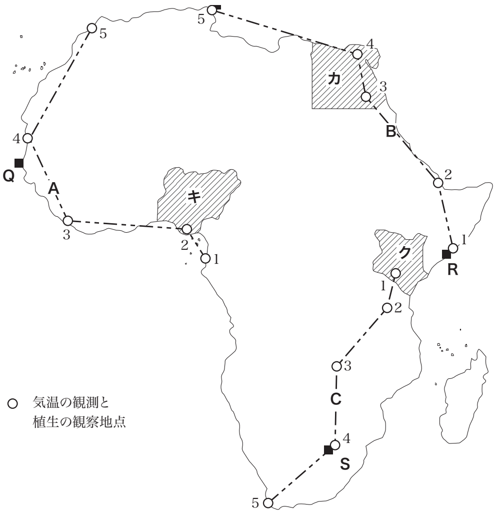
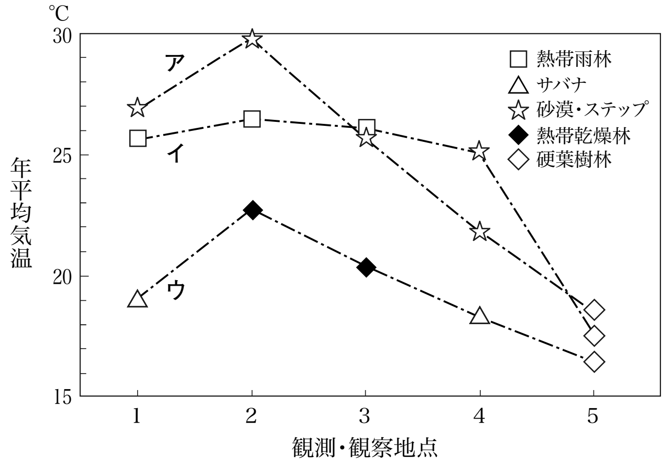


図　1



横軸は地点間の距離を示すものではない。
Diercke Weltatlas などにより作成。

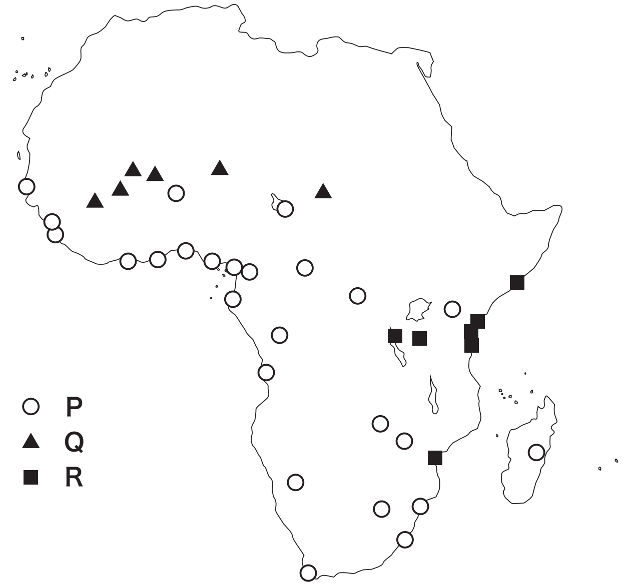
図　3

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

［9］（2011年度地理Ｂ本試験第４問問５）

　アフリカの都市は，地域の自然環境の特徴を背景とした歴史的な成り立ちの違いによって類型化できる。次の図４中の**Ｐ**～**Ｒ**は，アフリカのいくつかの都市について，その成り立ちの特徴ごとに分類して示したものであり，下の**サ**～**ス**の文は，そのいずれかを説明したものである。**Ｐ**～**Ｒ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

サ　象牙(ぞうげ)などを商品とした交易の拠点として成長し，これらの都市を介してスワヒリ語が広がり地域の共通語となった。
シ　二つの異なる気候帯の境界付近に位置し，それらの一方からは岩塩など，他方からは金や森林産物などを商品とした交易の拠点となった。
ス　ヨーロッパ諸国による植民地経営の行政機能をになうものとして発達した都市であり，ヨーロッパ風の建築や街路パターンなどが残っている。



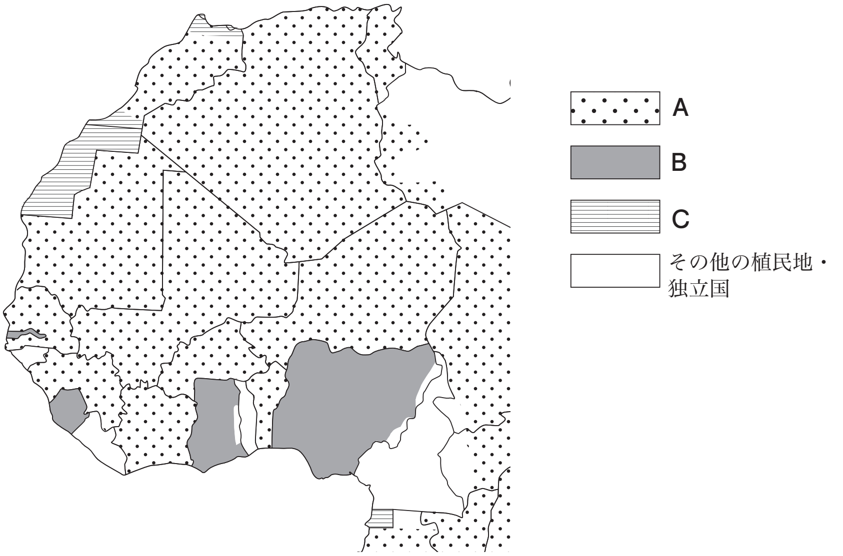
嶋田義仁ほか編『アフリカの都市的世界』により作成。

図　４

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｐ	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Ｑ	シ	ス	サ	ス	サ	シ
Ｒ	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［10］（2000年度地理Ｂ追試験第５問問６）

アフリカ諸国は，かつて植民地であったために，現在でも旧宗主国の影響が残っている。次の図中のＡ～Ｃは，1914年当時のイギリス領，スペイン領，フランス領のいずれかである。Ａ～Ｃの組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



国境線は1996年のものである。
『Diercke Weltatlas』などにより作成。

	A	B	C
①	イギリス領	スペイン領	フランス領
②	イギリス領	フランス領	スペイン領
③	スペイン領	イギリス領	フランス領
④	スペイン領	フランス領	イギリス領
⑤	フランス領	イギリス領	スペイン領
⑥	フランス領	スペイン領	イギリス領

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ［確認問題］

［１］（2021年度地理Ａ本試験第３問問１）

南アジアには様々な気候帯や農業地域が分布している。次の図１中の**ア**～**ウ**は，図２中の地点**Ａ**～**Ｃ**のいずれかにおける最多雨月と最少雨月の月降水量を示したものである。地点**Ａ**に該当する月降水量と，図２中の**Ｅ**州において小麦と米のうち生産量が多い作物との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

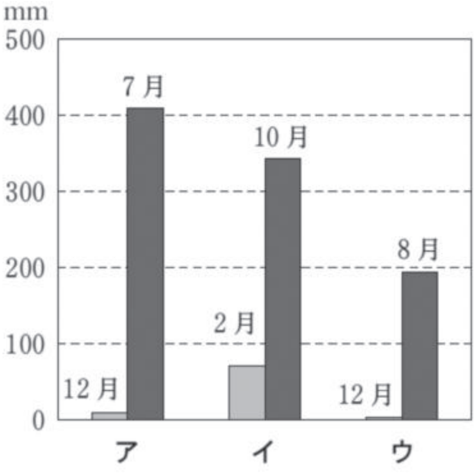


図　1

図　2

	①	②	③	④	⑤	⑥
地点Ａに該当する月降水量	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
Ｅ州において生産量が多い作物	小麦	米	小麦	米	小麦	米

［２］（2005年度地理Ｂ追試験第１問問６）

次の**カ**～**ク**の文章は，チベット高原を源流とするインダス川，ガンジス川，メコン川の本流に沿った地域について述べたものである。**カ**～**ク**と河川名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　中流部では，本流の一部が国境となっている。下流部では，雨季と乾季の水位の差が大きく，三角州(デルタ)には水田が広がっている。

キ　中・下流部は，乾燥地域となっている。ここでは多くの灌漑水路が引かれており，小麦などが栽培されている。

ク　中・下流部は，肥沃(ひよく)な平原となっている。下流部の三角州(デルタ)では，主に稲やジュートが栽培されている。

	カ	**キ**	**ク**
①	インダス川	ガンジス川	メコン川
②	インダス川	メコン川	ガンジス川
③	ガンジス川	インダス川	メコン川
④	ガンジス川	メコン川	インダス川
⑤	メコン川	ガンジス川	インダス川
⑥	メコン川	インダス川	ガンジス川

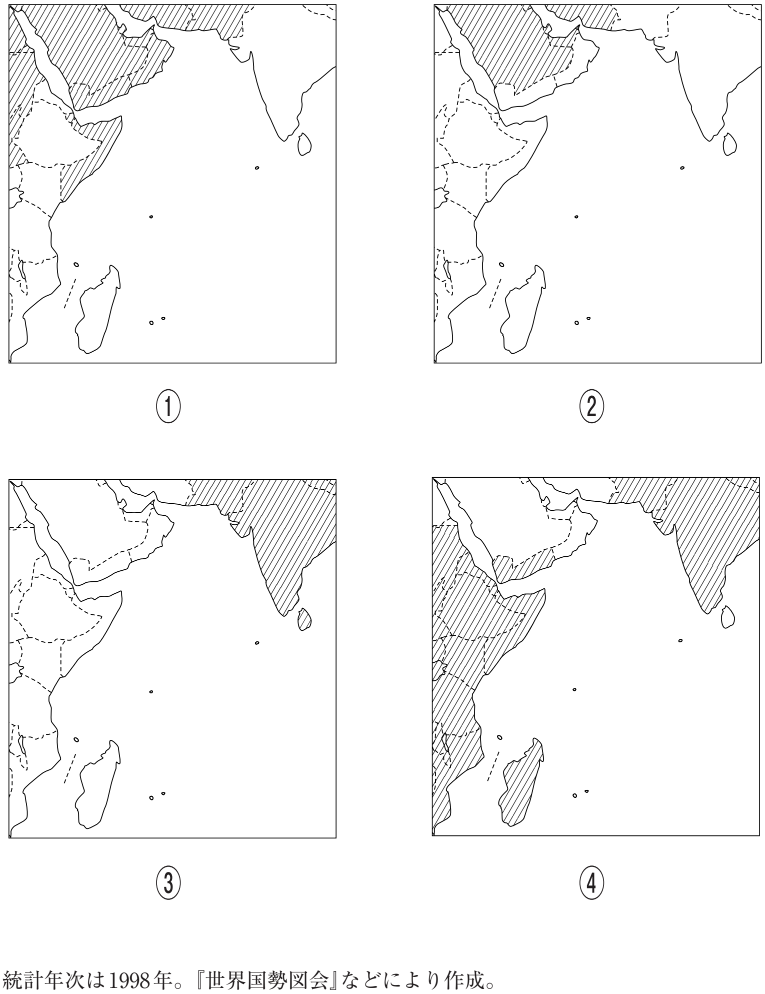
［３］（2003年度地理Ｂ本試験第３問問６）

スリランカにおける民族について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 人口の多数を占めるシンハラ（シンハリ）人と，少数派のタミル人との間で対立が生じている。
② シンハラ人の中では仏教徒の割合が最も高く，タミル人の中ではイスラム教徒の割合が最も高い。
③ シンハラ人が使用するシンハラ語とタミル人が使用するタミル語の双方が，スリランカの公用語となっている。
④ タミル人は，シンハラ人に比べると，インド南部との民族的つながりが，より深い。

［４］（2002年度地理Ａ追試験第１問問６）

次の図３は，インド洋西部沿岸の諸国について，イスラム教徒が総人口の60％を超える国，石油輸出国機構（OPEC）に加盟している国，人口密度が１km^2当たり100人以上の国，低所得国（１人当たり国民総生産が766ドル未満）と呼ばれる国の分布のいずれかを斜線で示したものである。イスラム教徒が総人口の60％を超える国の分布に該当するものを⑴に，人口密度が１km^2当たり100人以上の国の分布に該当するものを⑵に，図３中の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。



統計年次は1998年。『世界国勢図会』などにより作成。

図　３

［５］（2014年度地理Ａ本試験第３問問５）

次の写真２中の**タ**～**ツ**は，図１中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの都市で撮影されたものである。**タ**～**ツ**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

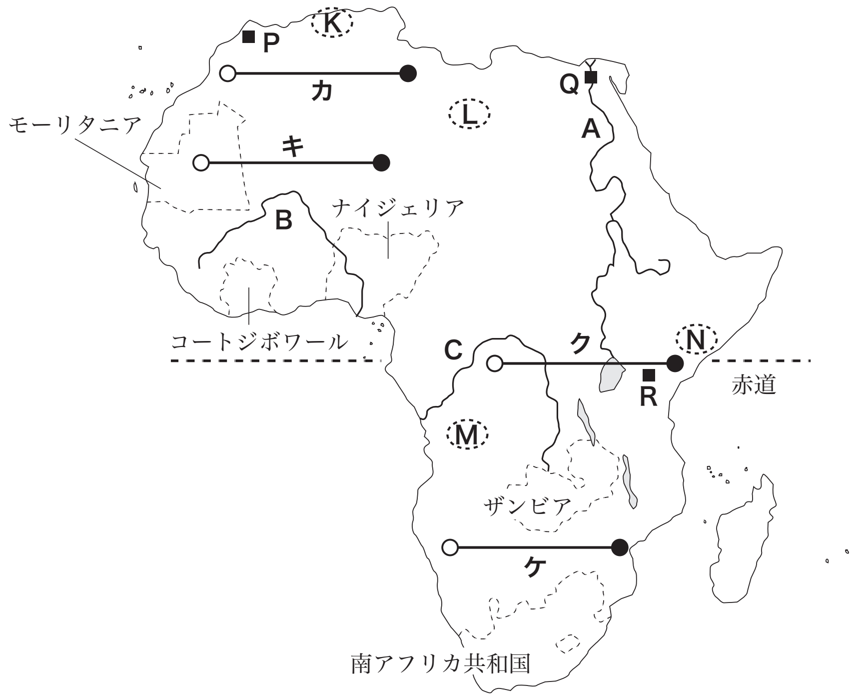


図　１

タ 商工業の盛んな観光都市

チ 白人の居住地から発達した行政・経済都市

ツ 密集した建物と迷路状の街路からなる歴史的都市

写真 ２

（編集上の都合により代替写真に差し替えてあります。）

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

［６］（2003年度地理Ａ本試験第１問問４）

今日では，アフリカの観光地も多くの客を集めるようになっている。次の**Ｐ～Ｒ**の文章は，図**３**中の**カ～ク**地点のいずれかの観光地を紹介したものである。**Ｐ～Ｒ**と**カ～ク**との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

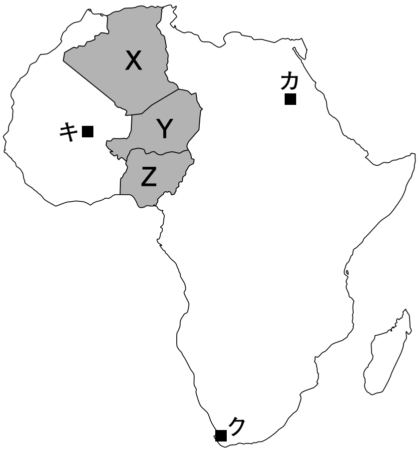


図 ３

Ｐ かつては隊商都市として栄えた。砂の中に埋もれてしまった繁栄の歴史が知られている。

Ｑ 日本への輸出も増えているワインの生産地である。丘の斜面や山間の盆地にブドウ畑が広がり，ワイン工場の見学もできる。

Ｒ 世界的に有名な巨大神殿がある。この神殿は，ダム建設時に水没を避けてそっくり移設されたものである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ｐ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Ｑ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Ｒ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

〈Note〉

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ　解答

[１]正解；⑤

[２]正解；①

[３]正解；③

[４]正解；③

[５]正解；③

[６]正解；②

[７]正解；①

[８]正解；③

[９]正解；⑥

[10]正解；⑤

第２講
南アジア・西アジア・アフリカ　解答

［１］正解；⑤

まず，月降水量を判定する。図２の地域は季節風（モンスーン）の影響で雨季と乾季が明瞭であり，ア～ウのグラフはいずれも最多雨月と最少雨月の降水量の差が大きい。ここは，地点Ａ～Ｃにおける総降水量を想像し，それを問題を解くカギとする。南アジアでは，全体的に「北西部で少雨，東部と南西部で多雨」という降水量分布がみられる。パキスタンやインド北西部には乾燥地域が広がり，一部には砂漠も見られる。一方，東部は降水量が多く，とくにヒマラヤ山脈南麓のアッサム地方は世界的な多雨地域となっている。このことから，Ａ～Ｃのうちインド西部のＡは最も降水量が少ないと考えられるので，最多雨月の降水量が最も少ないＡをウと判定する。夏にはまとまった降水がみられるが，それ以外の時期はほとんど降水が見られないと想像できる。

次に農作物だが，地点Ａを含むＥ州は降水量が少ない地域と考えられる。小麦と米のうち，少雨気候に適応するものは小麦であり，南アジア北西部の乾燥地域では，チャパティやナンなど小麦を原料とした料理が食されている。よって，正解は⑤である。

他の地点についても確認しておく。ＢとＣは，乾季の降水量に注目する。とくに雨季と乾季の差が大きく，乾季にはほとんど降水が見られないアに該当する地点がインド東部のＣ。夏は海からの湿った風が吹き込み多雨となるが，冬は大陸内部からの乾いた風が吹き出すため雨がほとんど降らない。一方のイに該当するのがスリランカに位置するＢとなる。季節風の影響を強く受けるのは他の地点と変わらないが，周囲を海に囲まれているため，冬でも水分の供給は見られる。また，赤道に近いことから，熱帯収束帯（赤道低圧帯）の影響も比較的大きい。激しい上昇気流による収束性降雨がみられる。農作物については，ＢもＣも年間の降水量が大きいため稲の栽培地域となり，米が食されている。

［２］正解；⑥

インダス川が重要。砂漠国パキスタンを流下する外来河川である。「乾燥」，「灌漑」がキーワードでキが該当。

さらにクの「ジュート」にも注目。インド東部やバングラデシュの低地において

栽培される繊維作物。この地域を河口とする河川がガンジス川（インド北部をバングラデシュ方面に向かって流れる）であり，**ク**が該当する。よって⑥が正解。

残った**カ**はメコン川で，インドシナ半島を流れる国際河川である。タイやラオスの国境ともなっている。

［３］正解；②

スリランカの主要民族であるシンハラ人は仏教徒だが，少数派のタミル人は「ヒンドゥー教徒」である。インドより移住してきた人々の末裔。

［４］正解；⑴①　⑵③

イスラームについては南アジアがわかりやすい。パキスタンとインドの違いに注目。パキスタンが該当し，インドが該当していない①が「イスラム教徒が総人口の60％を超える国」。

さらにサウジアラビアに注目。世界有数の原油産出国であり，OPECの代表的な国。サウジアラビアが含まれているのは①と②だが，①はすでに決定しているので，②が「石油輸出国機構（OPEC）に加盟している国」となる。

そして，②と④の該当国が対照的となっている点に注目。②がOPEC加盟国であるので，所得水準は高いはず。②と正反対の傾向にある④を「低所得国（１人当たり国民総生産が766ドル未満）と呼ばれる国」と考える。

消去法で③が「人口密度が1 km^2当たり100人以上の国」である。なるほど，人口大国であるインドとパキスタンが含まれている。

［参考；OPEC加盟国］（★はアラブ民族が主である国）

西アジア・・・イラン・イラク★・サウジアラビア★・クウェート★・アラブ首長国連邦★

アフリカ・・・リビア★・アルジェリア★・ナイジェリア・ガボン・赤道ギニア・コンゴ共和国

南アメリカ・・・ベネズエラ

［５］正解；④

タ；アフリカで観光が発達している国はエジプトである。中央部を流れる大河川はナイル川であろう。**Q**のカイロが該当。

チ；ヨーロッパ人の建設による近代的な都市。**R**のナイロビが該当。

ツ；迷路状の街路区画は西アジアや北アフリカの伝統的な旧市街地でみられる。日干しレンガが建材とされ，窓など開口部は小さくつくられる。**P**のフェスが該当。

［６］正解；④

カ；アブシンベル神殿。文中の「ダム」とは，ナイル川に沿う，アスワンハイダムである。洪水が防がれ，灌漑により農業の生産性が向上したものの，上流側からの肥沃な天然土の供給がなくなり化学肥料への依存度が上がるなど弊害も大きかった。ダム建設の際にダム湖に古代の貴重な遺跡が水没することがわかり，これを高所へ移設させるために莫大な費用が費やされている。**R**が該当。

キ；ニジェール川に沿い，岩塩交易で栄えたトンブクトゥー。かつての黒人王国マリの都であり，イスラム教が伝えられたため，土づくりのモスクもみられる。ただし，砂漠化の影響で都市機能が衰え，建造物も損壊の危機にある。**P**が該当。

ク；ケープタウン。おおよそ緯度35°の大陸西岸に位置し，地中海性気候がみられる。ブドウの栽培とワインの醸造。**Q**が該当。